



2019年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2019年10月15日

上場会社名 株式会社 ブロンコピリー

上場取引所 東名

コード番号 3091 URL <http://www.bronco.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹市 克弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 古田 光浩

TEL 052-856-4129

四半期報告書提出予定日 2019年10月25日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第3四半期の業績(2019年1月1日～2019年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第3四半期	17,041	0.1	1,890	10.2	1,938	10.1	1,212	15.3
2018年12月期第3四半期	17,049	15.5	2,103	14.8	2,155	14.4	1,431	13.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第3四半期	80.41	80.29
2018年12月期第3四半期	95.00	94.87

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年12月期第3四半期	20,539	17,639	85.7	1,166.72
2018年12月期	19,873	16,761	84.0	1,108.28

(参考)自己資本 2019年12月期第3四半期 17,591百万円 2018年12月期 16,701百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期		12.00		12.00	24.00
2019年12月期		12.00			
2019年12月期(予想)				12.00	24.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年12月期の業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,500	4.8	2,430	6.4	2,500	6.3	1,620	9.4	107.49

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期3Q	15,079,000 株	2018年12月期	15,070,800 株
期末自己株式数	2019年12月期3Q	891 株	2018年12月期	865 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期3Q	15,074,479 株	2018年12月期3Q	15,069,963 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年12月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く等穏やかな回復基調で推移いたしました。一方、米中通商問題の動向等海外経済の不確実性により景気の先行きは、不透明な状況が続いております。

こうした状況下、当社のコンセプトである「ご馳走レストラン」の実現を目指し、当期は「ステーキハウス・ブロンコビリー」の専門店としての商品力強化とブランド力の向上に取り組んでおります。

商品面では、原点回帰を掲げてステーキの専門店を目指し、ブロンコビリーでしか味わえないステーキを提供することに継続的に取り組みました。2月から「炭焼きサーロインステーキ」を導入すると同時に、地域限定商品を提供し、ステーキの訴求力を高めながら、19年ぶりに輸入解禁になるウルグアイ産ビーフの導入を昨年より準備して、日本の大手チェーンレストランとしていち早くメニュー化し、5月より「ウルグアイ産超厚切り熟成サーロインステーキ」の販売を開始しました。ヘルシーな赤身肉のジューシーな味わいが溢れるステーキはご好評いただき、一時品切れとなる人気商品となりました。

高付加価値商品を継続的に導入する一方で、ランチタイムでは平日限定メニューでご好評いただいております「炭焼きハラミステーキ」を3月より土日祝日のランチタイムにも拡大して展開いたしました。

また、5月のメニュー改訂では、ステーキ・ハンバーグのメイン料理に大かまどごはん+コーンスープ+サラダバーを付けたセット価格で提供しておりましたディナーメニューを、従来のセット内容の「ブロンコセット」とサラダバーのみの「新鮮サラダバーセット」、さらに単品と、3つからお選びいただけるように変更いたしました。

「キッズクラブ」等のモバイル販促策で会員獲得を行うとともに、認知度向上を図るべくPR機能を強化、新製品やサラダバーの改訂等の情報がタイムリーに、テレビやWEBメディアへの露出につながり、集客効果につながるようになっております。

店舗面では、収益性を重点において出店及び退店を検討しており、鶴ヶ島インター店（埼玉県）、奈良押熊店（奈良県）、高槻若松店（大阪府）の3店舗を出店、一方で沼津香貫店（静岡県）、真正店（岐阜県）、柴田店（名古屋市南区）の3店舗を退店し、店舗数は135店舗（2019年9月30日現在）となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は170億41百万円（前年同期比0.1%減）、営業利益18億90百万円（同10.2%減）、経常利益19億38百万円（同10.1%減）、四半期純利益12億12百万円（同15.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第3四半期会計期間末の資産合計は205億39百万円（前事業年度末198億73百万円）となり6億66百万円増加いたしました。その主な要因は、流動資産の現金及び預金が3億73百万円減少した一方、投資その他の資産の長期預金が10億円増加したこと等によります。

（負債）

当第3四半期会計期間末の負債合計は28億99百万円（前事業年度末31億11百万円）となり2億11百万円減少いたしました。その主な要因は、短期借入金が1億71百万円及び賞与引当金が1億36百万円増加した一方、買掛金が1億44百万円、設備等の支払いにより未払金が1億16百万円及び未払法人税等が2億49百万円減少したこと等によります。

（純資産）

当第3四半期会計期間末の純資産合計は176億39百万円（前事業年度末167億61百万円）となり8億77百万円増加し、自己資本比率は85.7%（前事業年度末84.0%）となりました。その主な要因は、四半期純利益の計上と配当金の支払いにより利益剰余金が8億50百万円増加したこと等によります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2019年4月16日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,911,716	6,538,184
売掛金	259,457	312,534
商品及び製品	113,183	57,355
原材料及び貯蔵品	527,240	637,681
その他	227,353	243,469
流動資産合計	8,038,950	7,789,226
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	6,721,678	6,656,824
構築物（純額）	742,176	722,297
工具、器具及び備品（純額）	797,513	696,240
土地	1,627,348	1,683,862
その他（純額）	290,069	285,308
有形固定資産合計	10,178,786	10,044,532
無形固定資産	153,389	156,252
投資その他の資産		
長期預金	-	1,000,000
差入保証金	1,071,471	1,067,332
その他	430,435	481,936
投資その他の資産合計	1,501,906	2,549,268
固定資産合計	11,834,082	12,750,054
資産合計	19,873,032	20,539,280
負債の部		
流動負債		
買掛金	599,420	455,003
短期借入金	103,152	275,034
リース債務	15,150	15,150
未払金	896,977	780,099
未払法人税等	531,755	282,720
賞与引当金	41,658	178,339
販売促進引当金	20,513	20,619
その他	326,874	320,952
流動負債合計	2,535,502	2,327,918
固定負債		
リース債務	208,493	197,130
資産除去債務	358,352	361,184
その他	8,778	13,428
固定負債合計	575,623	571,742
負債合計	3,111,125	2,899,660

（単位：千円）

	前事業年度 (2018年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,199,210	2,210,667
資本剰余金	2,109,210	2,120,664
利益剰余金	12,399,678	13,250,050
自己株式	△1,444	△1,506
株主資本合計	16,706,654	17,579,875
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△4,911	12,096
評価・換算差額等合計	△4,911	12,096
新株予約権	60,163	47,647
純資産合計	16,761,907	17,639,619
負債純資産合計	19,873,032	20,539,280

（2）四半期損益計算書
（第3四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期累計期間 （自 2018年1月1日 至 2018年9月30日）	当第3四半期累計期間 （自 2019年1月1日 至 2019年9月30日）
売上高	17,049,926	17,041,049
売上原価	4,657,005	4,638,420
売上総利益	12,392,920	12,402,629
販売費及び一般管理費	10,289,066	10,512,580
営業利益	2,103,854	1,890,049
営業外収益		
受取利息	2,262	3,215
受取配当金	1,139	1,145
受取賃貸料	27,992	14,295
協賛金収入	46,711	48,631
その他	4,926	7,779
営業外収益合計	83,032	75,066
営業外費用		
支払利息	282	324
賃貸費用	23,178	18,276
その他	8,083	8,252
営業外費用合計	31,545	26,853
経常利益	2,155,341	1,938,262
特別損失		
固定資産除売却損	8,233	2,478
減損損失	13,447	109,910
投資有価証券評価損	-	8,096
特別損失合計	21,680	120,485
税引前四半期純利益	2,133,660	1,817,777
法人税、住民税及び事業税	760,154	658,665
法人税等調整額	△58,126	△53,038
法人税等合計	702,027	605,627
四半期純利益	1,431,633	1,212,149

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

（「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用）

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。